

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	19-4																																			
PDCA	主要事業名	保健衛生普及事業	部課名	福祉部健康課 福祉部国保年金課	担当	大川																																				
					内線	356																																				
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 1 単位施策： 地域医療体制 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 15,777 千円 会計 国民健康保険事業特別会計 歳出科目 04.01.01.02.01 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																									
	事業概要等	事業概要： 第2期データヘルス計画（改訂版）に基づき、ピロリ菌検査、胃がん・乳がん検診助成事業、生活習慣病重症化予防事業として循環器病予防講座や糖尿病性腎症重症化予防訪問、保健センターと連携して国保被保険者分の歯周病検診を実施する。また、医療費適正化のため医療費通知・ジェネリック医薬品普及啓発等を行う。																																								
		事業目的： 国保被保険者の健康意識の向上と医療費抑制の啓発、被保険者の生活習慣病重症化予防と健康寿命の延伸。																																								
		事業内容： ピロリ菌検査、胃がん・乳がん検診の助成、循環器病予防講座、糖尿病性腎症重症化予防訪問、歯周病検診、医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知等を行う。																																								
		問題点・課題等： ピロリ菌検査の実施率の向上。																																								
	予算額	主要事業とする理由																																								
	15,777 千円	被保険者のQOL（生活の質）向上や健全な国保財政（医療費の抑制）のため。																																								
	財源内訳	得られる成果																																								
	市費	被保険者の生活習慣病重症化予防と健康寿命の延伸を図ることができます。																																								
	0 千円	目標値や目指すべき状態																																								
	国費	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジェネリック医薬品の普及率</td> <td>実績値 78.7</td> <td>80.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 77.0</td> <td>79.0</td> <td>81.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ピロリ菌検査実施率</td> <td>実績値 18.5</td> <td>15.9</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 22.0</td> <td>22.0</td> <td>22.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>歯周病検診受診率</td> <td>実績値 15.5</td> <td>15.0</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 16.5</td> <td>17.0</td> <td>17.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>							令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	ジェネリック医薬品の普及率	実績値 78.7	80.3	—	%		目標値 77.0	79.0	81.0	%	ピロリ菌検査実施率	実績値 18.5	15.9	—	%		目標値 22.0	22.0	22.0	%	歯周病検診受診率	実績値 15.5	15.0	—	%		目標値 16.5	17.0	17.0	%
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																					
	ジェネリック医薬品の普及率	実績値 78.7	80.3	—	%																																					
		目標値 77.0	79.0	81.0	%																																					
	ピロリ菌検査実施率	実績値 18.5	15.9	—	%																																					
	目標値 22.0	22.0	22.0	%																																						
歯周病検診受診率	実績値 15.5	15.0	—	%																																						
	目標値 16.5	17.0	17.0	%																																						
15,777 千円																																										
その他																																										
0 千円																																										
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																								
	14,061 千円	ジェネリック医薬品の普及率は、81.9%となり先発医薬品から後発医薬品への切り替えが進み、医療費の抑制につながった。																																								
		成果指標																																								
						令和3年度	単位																																			
		ジェネリック医薬品の普及率		実績値	81.9	%																																				
				目標値	81.0	%																																				
		ピロリ菌検査実施率		実績値	14.3	%																																				
				目標値	22.0	%																																				
		歯周病検診受診率		実績値	15.0	%																																				
				目標値	17.0	%																																				
C 課題の整理	事業の評価・課題	C ・医療費通知を年6回、ジェネリック医薬品差額通知を年3回発送するとともに、保険証発行時にジェネリック医薬品希望ケースを配付するなど啓発に努めた結果、ジェネリック医薬品の普及率が向上した。 ・ピロリ菌検査費用の一部助成を行い、ピロリ菌検査と陽性者の除菌治療を促すことで、将来の胃潰瘍や十二指腸潰瘍等の重症化の予防に繋がった。																																								
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	改善推進 ・胃がん・乳がん検診の一部助成と歯周病検診の業務を効率的かつ効果的に行うため、機構の再編を進める。 ・慢性腎臓病の1人当たり医療費が県・国平均より高いことから、慢性腎臓病予防をテーマとした医師等による講座の開催を進めていく。																																								
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																				
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない																																			
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	削減余地																																				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																			

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
主要施策の成果報告書で活用